

まわりみち



-Contents-

塾長の活活算数講座

活ママの「教えてください」算数編

活塾草紙 子どもと落語『子ほめ』



松江算数活塾

まわりみち 松江算数活塾通信 5月上期号
2024年5月1日発行 vol.15(毎月2回発行)

発行・編集／松江算数活塾
〒690-0883 松江市北田町82-4
TEL 0852-67-8005 <https://katsujuku.net>

興味深いことに、「酒飲ませろ」とか「こぶか
いちようだい」と、真の目的がごく早い段階で相
手に伝えられてしまうのですが、受け手側も初め
からそれがわかっています。実際のところどう
思っているかはどうでもよくて、「上手くほめる
ことができたなら、かなえてやろうじゃないか」と
いう態度なのです。ほめ方が粋ならばよし、真情
を吐露するなんぞ無粋なこと、と言わんばかり
に。

「牛ほめ」では、父親からカンニングペーパーを
渡されただけで意味がまったくわかっていない与
太郎が、トンチンカンにほめます。それをおじさ
んが「それを言うなら：だろ」といちいち直しま
す。ということは、おじさんにはどうほめるのか
がわかっている、与太郎がきちんと定型をなぞる
かどうかだけ気にしているのです。笑い話に加工
してあるとはいえ、現代人とは異なる江戸庶民の
価値観がうかがえる斬です。

幕末には多くの外国人が日本にやってきました
が、彼らの記録に「(江戸庶民は)だじゃれや言

い立て(決まり文句)ばかりで、ちつとも話が前
に進まない」とあるのを読んだことがあります。
豊かと評するのが適当かどうかはわかりません。
でも、子どもたちには、今とはひと味もふた味も
違う人間関係を通落語を通して感じ取ってもらいた
いと思っています。これも一つの異文化交流と言
えるかもしれません。

(宮森健次)



松江算数活塾ご案内



◀ <https://katsujuku.net>



◀ 算数・落語スケジュール



◀ Instagram

算数オリンピックピック



毎年四月に行われる全国学力学

習状況調査が終わりました。今のよ
うな全国の小中最高学年を対象とし
て行われるようになったのは、平成
十九年（二〇〇七年）からで、私が
教育事務所の指導主事となる前年
でした。当時は、主として知識に関す
る問題「算数A」と活用に関する問
題「算数B」に分かれていて、松江
算数活塾の「活」は算数B問題に強
くなるという意味も込めました。

当時から島根県は算数B問題が
弱く、未解答も目立っていました。
県教育庁数学担当者は、解答スピー
ドよりも、じっくり読んで詳しく説
明する力を育てたいという願いをも

ち、平成二十一年からしまね数リン
ピックをスタートさせました。現在
も十月末に行われています。

その時にモデルとしたものが算
数オリンピックです。フィールズ賞
受賞者の広中平祐氏や大道芸で数学
を親しみやすいものにしたピー
ター・フランクル氏の提唱で平成四
年（一九九二年）に始まりました。

制限時間は九十分、合格ラインは
六十点、それをそのまま参考にしま
した。日頃は、五行を超えて解答す
ることもなく、四十五分の制限時間
を半分以上余らせるような算数テス
トを受けている子どもたちです。九
十分では時間が足りないテストを受

活塾草紙 子どもと落語

その拾

子ほめ

今も、なのかもしれないませんが、ひ
ところ「ほめて育てる」という手法
が学校でさかんに喧伝されました。
研修でも、講師から「とにかくほめ
るところを探してほめなさい、どん
なことでもいいから」と言われたこ
とを覚えています。ほめて育てられ
た経験に乏しいまま教員になった身
としては、どうも素直に従うことが
できず、最後まで苦手意識を抱えた
ままでした。ほめられれば悪い気は
せず、意欲が増すのも事実ですすか
正しいことではあるんでしょうけ
ど…

落語には、ほめる噺がけっこうあ
ります。よく知られているところ

言えば、「子ほ

め」や「牛ほ

め」。また、ほめ
るのが仕事の幫間
（たいこもち）の
噺も少なくありま

せん。「子ほめ」

は、実年齢より若
く見える、とほめ

る噺。「牛ほめ」

は、新築の家や新

しく買った牛を決ま

り文句でほめる噺。どちらも、正直
に感動を伝えるのではありません。

ただ酒を飲む、あるいは小遣いをも
らう、という極めて不純な動機でほ



けること自体初めてという子が大半
でした。その反応は…、

「学校ではふだんやらない問題で
楽しかった」といった感想が多く見
られ、難問に出合えたことによるこ
びを感じる子どもが多くなりました。

その算数オリンピックを六月十
六日（日）に島根県で初めて開催し
ます。いつものような点数はきつと
取れないでしょうが、世の中にはこ
んな問題があるんだ、と知るだけで
も価値あることだと思います。塾生
外、中学生の参加も大歓迎です。

松江算数活塾は、これからも算
数オリンピックを盛り立てていきたく
いと考えています。（川上宜久）

めるのです。まったく心にもないこ
とは、初めからバレーバレーで、ほめて
いるのだからけなしているのだからわか
らなくなるというのが、これらの噺
のおもしろさ。